

会報 いわて



一般社団法人



令和6年度 定期総会の案内

一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会定時総会

日 時 2024 年 5 月 25 日 (土曜日)

時間 協議中

会 場 協議中

新年度の挨拶

一般社団法人 岩手県臨床検査技師会

会長 高橋 一博

一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会会員の皆様、日頃、当会の会務の円滑な遂行に多大なるご協力を頂きまして誠にありがとうございます。本年度も宜しく願い申し上げます。

さて、本年度は岩臨技設立 70 周年、法人化 35 周年にあたり、10 月 19 日に行われる第 27 回岩手県医学検査学会と同時に記念式典、記念祝賀会を盛岡市で計画しています。担当は三陸地区と盛岡地区技師会で実行員会を組織し準備を進めております。

70 年前となると当時の事を知る方はいらっしゃらないと思いますが、昭和 30 年代後半から平成にかけて業務を行っていた技師の方にお話を伺ったことがあります。何でも昭和 30 年代の最初の頃の検査は細菌検査が業務の多くを占め、患者は赤痢がほとんどで SS 寒天培地と血液寒天培地があれば事足りたと。また、十勝沖地震に遭遇し、当時使用していた強酸が転倒・破損し、一時的に火災が発生し消し止めたこともあったと。ツツガムシ病にも遭遇したことがあるとも。今では多くの検査が高性能な分析器で行われ、解像度の良いエコーや PCR が一般化し、細菌の質量分析を行う施設もあります。病理では 100 年以上前からある H.E 染色に加え、特殊染色、免疫染色、細胞診、分子標的薬剤に対する体外診断薬の認可を受けた免疫染色やゲノム解析も行われています。当時では分からなかった事が今では詳細に検索され、患者一人一人に対して適切な治療へと繋がるようになっていきます。今後さらに多くの事が解析、実用化されていくことと思います。

岩臨技として周年の記念式典を行うのは記録が見つからず何時以来かはっきりしません。次回行う機会は 15 年後の法人化 50 周年あたりになるかも知れません。この機会に臨床検査の歴史に思いを馳せ、将来を展望し、また、旧交を温めるのも良いかと考えております。

是非皆様奮ってご参集ください。



令和5年度 第5回常任理事会議事録

日時：令和6年3月18日 18:00～20:00

場所：Zoom 開催

出席：高橋、千葉、小野寺、浅沼、佐々木、下川、千枝、佐藤、畠山

記録：高橋

○報告事項

1. 令和6, 7年度日臨技理事推薦について

副会長 千葉 寛氏を岩臨技として推薦

2. 宮島喜文氏 旭日中綬章祝賀会について

4月27日(土) 12:30 受付開始

ホテル日航川崎 12階 鳳凰の間 高橋、畠山参加。

当日理事会の後の可能性あり。(畠山)。

理事会が開催される場合、理事の交通費は日臨技負担となり、岩臨技は会長分のみ。

会費一人2万円、当日は宿泊になると思われる。

会費、交通費、宿泊費は岩臨技負担。

3月29日までに日臨技に報告し、詳細を確認する。

○確認事項

3. 年度末監査について

年度末監査と次年度の予算について

例年、4月上旬に議案書をまとめ、中旬に年度末監査、4月中に議案書を作成。

5月25日岩臨技総会を予定。リリオの空き状況を確認。

Web のみで行う場合もあり。

議案書はPDF でホームページよりダウンロードすることに決定。

議長：順番的には三陸地区から選出。議事録署名人は当日まで。

年度末監査は4月22あるいは24(仮)午後として予定する。

○協議事項

4. 岩手県医学検査学会進捗について

趣意書がほぼ完成。

学会決済システムの審査が必要。入金された3.8%の手数料が必要。

学会ホームページは順調に進んでいる。4月20日を目途にホームページ完成。

一般演題の募集は連休明けから開始予定。

学会受付は事前に送付したQRコードを用いるようにしたい。

事前にテストを行う。総会時に役員でテストするか？

QRコードはランチョンの弁当の引き渡しにも使用したい。

(い わ て)

5. 記念式典について

来賓の方々は知事、盛岡市長、県医師会長、日臨技、北日本支部都道府県会長

各県の会長の参加費用・旅費はそれぞれの県で負担した事例有り。

案内状の作成が必要。リハビリテーションセンターの難型を確認。

総会後の早い時期が望ましいか。

祝辞は知事、市長、医師会長、(日臨技代表?)

式典内で功労者の表彰を行う。各地区からの推薦1名。盛岡地区は2名推薦。

記念品と賞状の準備が必要。

4月以降地区会長に推薦依頼を出す。

6. 記念祝賀会について

ホテルニューカリーナを予定、Max100名くらい。

当日後泊の必要となる方は宿泊の申し込みをする。

祝辞は北日本支部長(桑原氏に依頼する)

講師の石山部長には宿泊必要となると思います。

4月以降に三陸地区、盛岡地区数名で話し合いを行う。

7. 記念誌編集事業について

編集委員を組織する必要あり

各地区で取り纏めをする方が必要。過去の行事の記録を取り出す作業を行う盛岡地区の方が必要。

見積り100万程度必要。送料は郵政か佐川となるが、どちらも費用が必要。

病院数は100施設、個人会員50人程度、25万から30万程度最低でも必要。

発行時期は12月を目途に。

8. その他

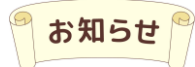
- マイナビ高校生ガイダンス。6月に行われる。

盛岡地区の工藤さん、及川さんに川村さんの補佐を依頼済み。

岩臨技の公益事業対象として行う。

- 来年度からの研修会の日当・謝礼の案をサイボウズにアップすることにした。
- 岩手銀行の定期(200万)は解約し、記念式典、祝賀会費用に予算として使用する。次回定期預金を行う場合は楽天銀行を考えている。(会計より)
- 宮古病院4名、釜石病院5名の宿泊はエスポワール岩手で海の券、山の券を使用したい。
(早めに決定すると3000円くらいを予定)佐々木まゆみさん取り纏め。
- ニュージーリーダー研修の講師の派遣を日臨技に確認するのは4月以降。
- タスクシフト第2回目は11月24日(日)を予定。アイーナを使用する。

研修会・講習会情報



第 43 回 田沢湖セミナーの開催

【テーマ】 : 「移り行く時代、今を知る ～血液疾患・生化学～」

【会期】 : 令和 6 年 7 月 6 日 (土) 13 時 30 分 ～ 7 日 (日) 11 時 30 分

【会場】 : 田沢湖高原温泉郷 ホテルグランド天空

【プログラム】

7 月 6 日 (土)

13:00 受付
13:30 開会の辞
13:40 メーカーレクチャー① (30 分)
14:10 メーカーレクチャー② (30 分)
14:40 休憩
14:50 実習 「キャピラリー電気泳動 ～見る・触る・読む～ (仮)」
SEBIA JAPAN 株式会社
16:10 演題① (10 分 質疑応答 5 分)
16:25 演題② (10 分 質疑応答 5 分)
16:40 特別講演
「(仮) 東北医科薬科大学病院検査部における臨床と基礎研究の紹介」
東北医科薬科大学医学部臨床検査医学 教授 高橋伸一郎 先生
17:40 事務連絡・写真撮影
19:00 情報交換会
21:00 ナイトセミナー
22:00 解散

7 月 7 日 (日)

9:00 メーカーレクチャー③
9:30 RCPC
自治医科大学臨床検査医学 野村祐希 先生
山田俊幸 先生

11:30 閉会の辞
11:40 解散

【参加費】 : ① 20,000 円 (内訳: 2 日間参加費 5000 円 宿泊費 15000 円)
② 5,000 円 (6 日または 7 日のどちらか 1 日のみ参加)
情報交換会: 5,000 円 (①の方は宿泊費に含む)

【定員】 : 40 名

【申込期限】 : 2024 年 6 月 7 日 (金)

(い わ て)



タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会（岩手県 004）



日時： 令和6年6月16日（日）
受付時間 9：00 ～ 9：30
開始時間 9：30 ～ （終了時間 17：30）
会場： いわて県民情報交流センター（アイーナ）
5階、8階（研修室501、810、811）
募集人数： 60名
受講料： 会員 15,000円
非会員 40,000円（資料代含む）
申込締切： 令和6年6月6日（木）
入金締切： 令和6年6月6日（木）

※事前登録は4月1日から開始となります。



タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会（岩手県 005）

日時： 令和6年11月24日（日）
会場： いわて県民情報交流センター（アイーナ）
7階、8階（研修室702、802、803）

※詳細については、決まり次第日臨技もしくは岩臨技 HP にてお知らせします。



(い わ て)

タスク・シフト／シェアに関する厚生労働大臣指定講習会（岩手県 003）の開催報告と受講者の感想いただきました。

タスク・シフト／シェアに関する厚生労働大臣指定講習会（岩手県 003）を開催しました

第3回実技講習会 実務責任者 小野寺 奈緒

2024年2月18日（日）、アイーナにて県内では3回目となる実技講習会が開催され、県外の方も含め58名が受講しました（事前申込 59名、事前キャンセル 1名）。

現時点で、岩手県では168名の方の受講が修了したことになります。

来年度も2回の開催を予定しておりますが、県内での開催回数には限りがあります。

未受講の方は、早めに基礎講習を履修しておいてください。

【受講者からの感想】

タスク・シフト／シェアに関する厚生労働大臣指定講習会の実技講習会に参加し、新しい業務内容を学んできました。基礎講習の動画でなんとなく手技の手順はみていましたが、実際にやってみると混乱の連続でした。特に静脈路確保の実習では、急患室で心電図をとる時に看護師さんが行っているのを何度もみているにもかかわらず、ドレッシング材の使い方でだいぶ手間取り、見ているのとやるのとでは違うなと痛感しました。

講師は実際に臨床の現場で経験豊富な先生方だったので、あらかじめ準備することや注意点などの説明がとてもわかりやすく、すぐにでも実務で活用できるようなお話を聞くことができ、貴重な体験でした。今後もスキルアップに努め、今回の経験を活かしていきたいと思います。

盛岡赤十字病院 菅原 佑美

この実技講習会に参加するためには、webを用いたオンデマンド方式での基礎講習700分の受講が必須です。私は基礎講習の受講を8月には修了していましたが、実技講習会の申込は延び延びになっていました。技師会からの“講習会募集地域を「北日本支部地域」に拡大しました”のメールが届き慌てて参加登録しました。参加者には他県の講習会は定員締切りとなったため前泊で受講している方がいました。

実技講習360分は、時間割、グループ、コンテンツ分類がきちんとされていたため、私達参加者は戸惑うことなく受講することが出来ました。その中で皮下グルコース検査は、看護科から真っ先にタスク・シフト／シェアを要望される業務ではないだろうかと思いました。また、これまで細菌検査等に提出される吸引痰をただ受け取って検査していましたが、行為の難しさを学び、血液が混じってしまうのは術者の技量にもよることを学びました。

患者に不安を与えずに、そして自分自身が自信をもって行為・検査が出来るまでには、かなりの訓練、経験が必要だと思います。採血業務は現在多くの施設でタスク・シフト／シェアされています。将来、今回実習した行為を行なう臨床検査技師が多くの施設でみられるかもしれません。

(い わ て)

講習会開催にあたり技師会役員、実務委員の皆様のご尽力に感謝いたします。

岩手県立磐井病院 後藤 明美

法改正に伴いタスク・シフト/シェアとして 10 行為が追加され、臨床検査技師が行える医療行為が増えました。

普段取り扱う検体として吸引痰や内視鏡検体はどのように採取されているか知らないことが多く、実技を通して手技のポイントや注意点などを学ぶことができました。また、事前のオンデマンド講習では理解が難しかった内容や、実習では初めて触れる器具が多く不安もありましたが講師の方々の丁寧な説明もありなんとか扱うことができました。

今回学んだ行為は患者への侵襲が大きく習練が必要と感じました。タスク・シフト/シェアとして実際に行うことを想定して今後の業務に活かしていきたいです。

岩手県立宮古病院 佐々木 奈保子



第 75 回盛岡地区技師研修会の参加報告をいただきました。

第 75 回盛岡地区技師研修会「移乗について」に参加して

岩手医科大学附属内丸メディカルセンター 竹田 茉生

私は今回第 75 回盛岡地区技師研修会「移乗について」に参加しました。

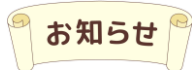
研修では始めに体の構造や重さについて聴講し、移乗する際に立ち上がりやすくなるためのポイントを学びました。その後グループに分かれて実際に車椅子からベッドへの移乗や、道具を使用しての移乗の仕方を体験しました。

相手の頭や体幹、足の位置がどこにあれば立ち上がりやすいのか、私達もその場で座っている椅子から立ち上がってその違いを体験しました。足の位置を体に近づける、頭を膝よりも前に出すなど少し体の位置を変えることで立ち上がりやすさに大きな違いを感じました。特に、頭を膝よりも前に出さずに立ち上がることは難しく、バランスを崩して立ち上がるできませんでした。研修の中で、私が普段車椅子からベッドへ患者さんを移乗する際に頭の位置に気を配れておらず、立ち上がりにくい状態にしていたことに気が付きました。自分自身の体を移動し、患者さんが移乗しやすいように頭を前に出すスペースを確保することの大切さを学びました。また、ボードやタオルなどの道具を使用することで、移乗する際の抵抗や体を動かすことが困難な方を移乗する際の体への負荷を軽減できることを知りました。車椅子に移乗する際にどうしてもズボンと車椅子の間で途中引っかかってしまうことが多かったのですが、ボードをズボンと車椅子の間に挟むことで引っかかりがなくなり、スムーズに移乗することができていました。双方の体への負荷無く安全に移乗するために積極的に道具を使用していくべきだと感じました。

普段何気なく行っている移乗について体の構造から学び、どのようにしたら安全に移乗が行えるか実技を通して考える貴重な機会となりました。普段患者さんと直接関わる業務が多いため、今回学んだことを十分に活かしていくと共に、移乗だけでなく常に患者さんの目線に立った対応ができるように努めていきたいと改めて感じました。今回このような機会を設けていただきありがとうございます。



(い わ て)



第73回 日本医学検査学会

第73回
日本医学検査学会

73rd
JAMT
CONGRESS
2024
KANAZAWA

命を見つめ・未来を拓く
One step ahead 臨床検査

2024年**5.11**(土)・**12**(日)

石川県立音楽堂、金沢市アートホール、ANAクラウンプラザホテル金沢、
ホテル日航金沢、ホテル金沢、もてなしドーム地下広場

学会長 油野 友二 (北陸大学 医療保健学部)

実行委員長 長原 三輝雄 (北陸大学 医療保健学部) 副実行委員長 石山 進 (金沢市立病院 臨床検査室) 大江 宏康 (金沢大学附属病院 検査部) 事務総長 玉野 裕子 (金沢大学附属病院 病理科)

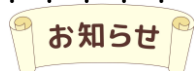
主催：一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 担当：一般社団法人石川県臨床衛生検査技師会

<https://convention.jtbcom.co.jp/73jamt/>

学会事務局 一般社団法人石川県臨床衛生検査技師会 〒920-0941 石川県金沢市旭町1-17-2 山標3号 運営事務局 株式会社JTBコミュニケーションデザイン 事業本部 コンベンション部二事業局内 〒541-0056 大阪府中央区久太郎町2-1-25 JTBビル6階 Fax: 06-4964-8804 E-mail: 73jamt@jtbcom.co.jp



(い わ て)



第12回 北日本支部医学検査学会

令和6年12月に仙台で行われる北日本医学検査学会ですが、学会会期中には仙台光のページェントが行われています。このため学会を担当するコンベンションでは宿泊の斡旋が出来ないと
の情報が入っています。(実行委員長談)

宿泊は個人で予約する必要があるが出てくると思いますので、早めの予約をお勧めします。

ポスターのデザインは、夕焼けの海と島を背景とし、中央には「共創思考・力 未知の奥(みちのく)にある 新しい価値」というテーマが掲げられています。左側には馬と乗員のイラスト、右側には地球のイラストが配置されています。下部には開催日時、会場、実行委員長、幹事局などの詳細情報が記載されています。

令和6年度 日臨技北日本支部 医学検査学会(第12回)

共創思考・力
未知の奥(みちのく)にある
新しい価値

<https://med-gakkai.jp/jamt-kt2024/>

2024.12.14(土)・15(日) 仙台国際センター

学 会 長 ▶ 藤巻 慎一 東北大学病院 診療技術部 実行委員長 ▶ 鈴木 里香 みやぎ県南中核病院 検査部
副学会長 ▶ 菅原 勲 石巻赤十字病院 病理部 事務局長 ▶ 勝見 真琴 東北大学病院 診療技術部

主催：一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 担当：一般社団法人宮城県臨床検査技師会

【主催事務局】(一社)宮城県臨床検査技師会 〒984-0075 仙台市青葉区清水小路5-6 エステート五橋 7F 704号
TEL: 022-723-4896 FAX: 022-723-4901

【運営事務局】株式会社メッド 〒108-6028 東京都港区港南2-15-1
TEL: 03-6717-2790 FAX: 086-463-5345(岡山本社)
E-mail: jamt-kt2024@med-gakkai.org





今回の『つなぐ』は、県立胆沢病院 小田島香さんです。

“つなぐ”

今回、県立宮古病院の伊藤七海さんから引き継ぎました、県立胆沢病院の小田島香と申します。七海ちゃんとは同期入局で、研修会などで仲良くして頂いています。

今回「つなぐ」のテーマはフィリピンについて書こうと思います。母がフィリピンの人なので、小さいころは冬休みを利用して訪れていました。言語は主にタガログ語ですが、英語が話せる人が多いのでローカルでも英語が通じます。フィリピンの有名な食べ物はバナナ、マンゴーなどを思い浮べると思いますが、今回はおすすめのローカルフードを4つ紹介します。

① アドボ Adobo→アドボは日本でいう豚の角煮のような料理です。醤油、砂糖で味付けるところは日本と一緒にですが、アドボはさらにニンニクや酢などを入れて味付けします。少し味が濃いですが、ご飯との相性バッチリです。

② シニガン Sinigan→シニガンは酸味が強めのスープでフィリピンの定番料理です。豚肉や牛肉とナスやトマト、大根などの野菜を入れて、味付けはサンパロックというで味付けしますが家ではレモンを使用します。夏バテのときに食べるのがおすすめです。酸っぱいものが苦手な方にはおすすめはしません。

③ ハロハロ Halohalo→フィリピンを代表するデザートといえばフィリピン版のかき氷ハロハロです。ミニストップに夏になるとハロハロが売られているので名前だけは知っている方も多いと思います。ハロハロはかき氷にココナッツ、練乳、紫芋アイス、カラフルなゼリーなどがトッピングされていて、かき混ぜて食べます。フィリピンにはハロハロのお店がたくさんありますが、店によってトッピングや味が違うので食べ比べるのもいいと思います。

④ トゥロン Turon→トゥロンはバナナと春巻きの皮で包んで揚げたおやつです。フードコートや屋台によく売られています。バナナはフルーツのバナナではなく、調理用バナナを使用します。生で食べると渋みがありますが、加熱すると甘くなります。そのまま茹でて食べるのもいいですし、春巻きに巻いて揚げて食べるのもおいしいです。また、調理用バナナはアメ横のアジア食材専門のお店にも売られています。

食べ物だけでなくホワイトビーチやチョコレートヒルズなど観光スポットもたくさんあり、とても魅力的な国です。フィリピンに行く機会があれば訪れてはみてはいかがでしょうか。次回は、県立大船渡病院の小野寺明穂さんにつなぎたいと思います。検体検査や会計のお仕事でたくさんお世話になりました。お忙しい中引き受けてくださりありがとうございます。明穂さん、よろしく願います。



(い わ て)



～編集後記～

今年の、冬は寒暖の差が大きく体調を崩された方も多かったのではないのでしょうか？

開花予想も早まるかと思いきや、平年並みのようです。

インフルエンザのB型が落ち着きつつありますが、COVID-19 がにわかに増えてきました。

歓迎会、お花見等飲食の機会もあると思いますが、感染対策に御留意ください、

新年度もよろしくお願いいたします。(fuji)

会報「いわて」第 346 号 2024.4

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会

発行人：

会 長：高橋 一博

事 務 局：下川 波歩

編集責任者：熊谷 公代

藤倉 由規

〒020-8505 盛岡市内丸 19-1 岩手医大中検内